

多治見市の青少年育成だより

～ 未来を担う子どもたち 地域で守り育てよう ～

2023年
Vol.16

発行 多治見市青少年まちづくり市民会議
多治見市青少年育成推進員会議
多治見市教育委員会事務局教育推進課

「多治見市青少年まちづくり市民会議」は、地域のイベントなどを通し、子どもたちが楽しく過ごすことができるよう、様々な体験の機会や子どもたちが自分の考えを発表する場を提供しています。この青少年まちづくり市民会議は、青少年健全育成を進めていくために平成5年に組織されました。その後、各13小学校区に「校区青少年まちづくり市民会議」が設置され、子どもに関する機関や団体と連携し、地域ごとの特性や特色を生かした活動を行っています。

7月1日と11月1日に開催する「あいさつで絆の日」は「絆を築くことができるまち」を作りたいという子どもたちの意見から始まった挨拶活動です。

また、「花いっぱい運動」は、花を種から育て、地域の方に配布する活動です。花を通して地域の方とのつながりを作る目的として活動しています。

この冊子は、青少年まちづくり市民会議の活動を紹介することで、より多くの皆さんに市民会議の活動をご理解いただき、子どもたちと行事に参加すること、子どもたちを守り育てることを地域で考えていただく機会になると考え、発行しています。



各校区青少年まちづくり市民会議の活動紹介

養正校区青少年まちづくり市民会議

今年も1月28日に餅つき大会を開催しました。コロナで今年はデモンストレーションのみになりましたが、地域の皆さんでたくさん餅をついてくださり、大いに盛り上がりました。

例年かたる大会を開催していましたが、地域の保護者の提案で「クイズ王は誰だ！」が開催され大いに盛り上がるだけではなく、新しい市民会議のメンバーの提案行事であること、子どもの意見を採用した画期的な事業で、今後の市民会議の流れの一つになりそうです。

地域の人と多中の生徒ボランティア「輝きたい」のお手伝いも大変助かりました。

また、挨拶運動を7月1日と11月1日に養正小学校と多治見中学で行いました。

元気に挨拶を返してくれる生徒だけではなく、PTAを中心とする保護者も多く参加され、コロナ以前の学校生活に戻る雰囲気を感じる挨拶運動となりました。



精華校区青少年まちづくり市民会議

コロナに負けない市民会議

終息が見えない新型コロナウイルス、三年目に入った令和4年も先の見通しがつきにくい中でのスタートになりました。その中でも二年間活動を続けてきた経験があり当初計画した事業を全てやり終えることができました。事業をお手伝いいただいた町内選出の青少年委員の皆様には感謝しています。

さて、精華校区では年間を通して八つの事業を実施しており、いくつか紹介させていただきます。まずは、コロナ禍で対面での実施が難しかった「私の主張大会」を三年ぶりに実施することができました。小中学生の生の声を聴くことができ、SDGsに関する主張には大人も感心しました。夏休み中の恒例行事、「夏祭り」は多くの親子で精華交流センターが賑わいました。精華ぼらんていあキッズの面々が自主制作したゲームには小さなお子さんから小学生までたくさんの参加があり、キッズのメンバーも達成感があつたことでしょう。古川市長さんも、飛び入りで飲み物の売り子役に変身、楽しんでいただけたと思います。新年を迎える行事「餅つき」、家庭からは消えましたが精華市民会議では、その伝統を絶やすことなく「餅つき体験」として活動を続けています。臼に入れた餅をお子さんがつけるよう柔らかくするまでは大人の仕事、大人も童心に帰って餅をつく姿が印象的でした。

来賓の皆様からいただく「地域のつながりが芽生える活動は大切にしてください、途切れることなく続けてください」の声、こうした声を励みに来年度も頑張る精華校区市民会議です。これからも地域が一体となって青少年の育成に努めていきます。



私の主張大会



精華ボランティアキッズ



夏祭り



餅つき大会



共栄校区青少年まちづくり市民会議

ボランティア活動中

3年ぶり共栄校区ふれあい文化祭開催

今年度は『ふれあい文化祭』ができてスタッフ一同、参加者さまから感謝や喜びのこえがきけてよかったです。特に子どもたちの発表はすばらしい内容でした。

参加型の文化祭を市民みんなで作って
いきたいです。

後は下記の
QRコードを
ご覧ください。



ストーンアートづくり



モルック体験



共栄保育園・灯籠イラスト



ビンゴゲーム中



活動発表

昭和校区青少年まちづくり市民会議

今年度は、コロナ禍による影響も徐々に緩和され計画していた行事は、一部中止や内容を変更しながら実行することができました。

わたしの主張大会は2年ぶりに対面開催を実現できました。

小中学校7名のこどもたちが素晴らしい主張を熱弁する姿に感動しました。

1月に予定していた「百人一首かるたとり大会」は中止となり、「ハッピースポーツデイ2023」を開催しました。

昭和小学校のグラウンド、体育館を使用し8種類の軽スポーツを楽しみました。

参加者は約170名で、非常に好評をいただき、再び開催を希望される声もいただいております。

いろいろと制限のある中で各イベントを開催できたことに達成感を感じております。

これもひとえに子どもボランティアスタッフ、各区区長、青少年委員会、体育委員会、児童館、小中学校教職員の皆様、継続委員の皆様、地域の皆様のご協力なしには成り立ちませんでした。改めて感謝申し上げます。来年度に向けてこれまで通り、こどもたちの健全な育成を手助けできる活動を継続して参ります。

皆様の健康、更なる発展を祈念するとともに、今後とも昭和校区まちづくり市民会議にご理解ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。



池田校区青少年まちづくり市民会議

池田校区もまだまだコロナ禍という事で行事計画が思うように立案、実行出来ない中、「わたしの主張大会」、「挨拶で絆の日(2回)」、池田小学校PTA親子ふれあい事業(星空の映画祭「シング2」鑑賞)、年末の恒例となりました和風づくりの以上が、今年度、池田校区のまちづくり市民会議としての行事となりました。

また、地元の実行委員会主催の池田町屋公民館での夏まつりは雨天にもかかわらず、大勢の来場があり、ミニゲームをまちづくり市民会議の役員が担当し、ここ数年開催できなかった事業を心待ちにしてみえた方々の笑顔にあふれた一日となりました。



小泉校区青少年まちづくり市民会議

小泉校区では3年ぶりに「もちつき大会」を開催しました。

感染防止のため、手指の消毒をしたり、手袋を着用したりして実施しました。

例年のように、小泉中学校の生徒40名以上にボランティアとして協力していただきました。ボランティアには受付、もちつき、もちの成型、味付けの他、花もちの準備や指導をしていただきました。そのおかげで500名に配布できるだけのもちを準備することができました。

花もちは、紅白のもちを柳の枝に巻き付けて作りますが、もちが手についてしまい、なかなか思い通りになりません。中学生のボランティアに水を用意してもらうなどして何とか作り上げることができました。

また、小さなお子さんにはもちつき体験をしていただきました。小さな手で大きな臼に向かって杵を振る姿がとてもかわいらしく見えました。この小さな子たちが10年もたたないうちに中学生となり、ボランティアとして参加してくれる日が来ることを楽しみに今後も活動を続けていきます。



市之倉校区青少年まちづくり市民会議

子どもスタッフが主体となり、考えて「1つの行事」を計画する為、夏休みを利用して、子どもスタッフのリーダー的存在である中学3年生と、後に続く中学2年生に集まってもらい、意見交換会をしました。ドロケー、パン食い競走、ナゾ解き、宝探し……など、様々な「遊び」の意見がでました。

中学生は子どもスタッフ、小学生には申し込み用紙を配って参加者を募りました。

準備運動として、「市之倉体操」を行いました。この音楽を聞くと自然に体が動く南中生たちでした。そして、中学3年の男子が警察役を引き受け、ドロケー。約15分間、みんなが全力疾走しました。

その後、A~Kのグループに分かれ小学生と中学生が、いっしょに考え問題を解きながら、コースを回るオリエンテーリング、6個の合い言葉を役員に伝えて、最後にお宝をゲット!!その後、同じグループで「パン食い競走」をしました。

コロナ禍なので「食い」から「取り」に変えましたが、中学生が上手に小さい子の面倒をみて 高い所のパンに飛び付いて 取っていました。



滝呂校区青少年まちづくり市民会議

滝呂校区青少年まちづくり市民会議の一番人気度の高い行事は、夏休みの始まりに合わせて行う【さかなつかみ大会】です。

校区内を流れる「笠原川」に「マス」を放流して小中学生の子どもを中心に多くの方に参加いただきました。

コロナ禍で2年間開催が出来なく…今回の開催については「密を避ける為の幾つかの工夫」をして開催しました。また、校区内の小学生のお友達も一緒に参加出来る企画にしました。お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、そしてお友達同士と一緒に一生懸命魚を追う姿はとても楽しそうでした。近隣の方にも気持ち良くご協力を頂きました。

今年度もまた新しい工夫を加えて開催出来るように、役員全員で力を合わせて頑張ります。



南姫校区青少年まちづくり市民会議

今年のどんど焼きは、1月15日の午前中に、3年ぶりに観客を入れて開催出来ました。開催内容もコロナ禍でできることをみんなで検討して行うことができました。当日は、屋外で豚汁と紅白餅を先着100名の方に振る舞い、あっという間になくなってしまいました。子供の餅つき体験も小さな子供が杵を振り回かざしながら、一生懸命に餅をついていました。

マルシェも3団体のご協力で実施し、多くの方が色々なものを購入し、大変にぎやかでした。

屋内では、子供の遊びコーナーを南姫児童センター、南姫公民館で行いました。子供たちの笑い声が響き、大変好評でした

今年は、みんなの笑顔で久しぶりのイベントができ大変よかったと思います。今年の災いを払い、豊作や商売繁盛、家内安全、無病息災、子孫繁栄を願った、どんど焼きが大変好評に実施できました。

またコロナ禍のため、1つの行事をやむを得なく中止しました。来年はすべての行事ができることを期待しております。



根本校区青少年まちづくり市民会議

根本校区青少年まちづくり市民会議では、今年度24の活動計画でスタートをきりました。

コロナ禍とはいえ、その対策として事業ごとに人数制限や健康チェックを厳しく実施して、これまで全ての事業が実施できました。関係諸団体や機関との調整や意見交換を密にすることで感染拡大につながった情報はなく、関わった児童生徒保護者による自己管理や公衆衛生に関する知識や努力の賜物と考えられます。

周辺市街地に位置しており、地域事業と子どもたちの関わりが青少年の育成活動に大きな役割を締め交流センターでのボランティアキッズとの協働は、地域住民や保護者が引っ張られ地域デビューされるきっかけを作り、秋祭りの子ども神輿の作成や巡航ねり歩きに同行されたり、夏の魚つかみにも多くの家族参加があり、堤防の上から自慢げな「どや顔」を写真に撮ったりと好評でした。

市民大会の実践発表では、ボランティアの生の声を発表する機会をいただき校区の特性をいかした活動を子どもの声や言葉で紹介でき、大きな自信となったことと思われます。

各種の行事に参加する姿を保護者や住民に見てもらい一緒に参加する機会を作ったことは、今後の活動に大きな収穫となりました。



秋祭り子ども神輿



子ども遊び広場



さつまいも苗植え



さかなつかみ

北栄校区青少年まちづくり市民会議

今年度の北栄校区は、新型コロナウイルス感染予防のため中止にした事業もありましたが、その中で実施できた夏休みの事業を紹介いたします。

朝はラジオ体操、夜は夜間パトロールで夏休みが始まります。

ラジオ体操は7:00～北栄小学校中庭で行います。ラジオ体操の音楽で早くから集まる子や、スタンプカードにスタンプを押してもらって、カードを大事にしてうれしそうに大きな声で挨拶をする子もいます。

始まりが7:00ですから地域で済ませて参加する子ども達もいます。

ラジオ体操連盟の公認指導員の方の指導を受けて、子どもたちが前に出て大人の参加者と一緒にラジオ体操の第一と第二を行います。

夜間パトロールは、21:00～旭ヶ丘公民館を出発して約1時間半をかけ北栄校区内の地域の公園や学校、またコンビニ周辺を見回ります。

パトロールは交番のパトカーも同行して行きます。

時々花火などをしている方もいますが、今年は特に問題はありませんでした。



脇之島校区青少年まちづくり市民会議

今年度の脇之島校区まちづくり市民会議は、小学生18名、中学生17名の子どもスタッフと一緒にスタートしました。コロナ禍も徐々に緩和されwithコロナの考えでこれまでの伝承行事等をどうしたら開催可能かを内容的にも考え、例年に近い形で各行事を開催することができました。

小学生は「凧作り教室」「凧揚げ大会」、中学生は「スライムづくり」「公民館フェスティバル」全員参加の「わたしの主張大会」「花いっぱい運動」に、スタッフとして責任を持ち一生懸命取り組む姿は頼もしく、小さな子どもたちや地域の人たちを笑顔にしてくれました。

また、バロー文化ホールで開催された「多治見市青少年まちづくり市民大会」では、子どもスタッフを代表して8名の子が脇之島校区の町の紹介や、まちづくり市民会議の活動を、堂々と発表してくれました。子どもたちにとって貴重な機会で、いつまでも心に残る体験であったと思います。

今年度は、脇之島校区まちづくり市民会議が子ども対象の地域活動団体であるとして、脇之島小学校の校長先生の推薦を受け「岐阜県地域子ども支援賞」を受賞しました。

より一層、発展的な子どもの支援活動ができるよう、子どもたちと話し合いながら創意工夫を凝らしていきます。



笠原校区青少年まちづくり市民会議

ここ三年間コロナの影響で、顔を見ない日々が続きました。本年度からは、少し明るい兆しが出てきましたので、検温消毒済がわかるようマスクにウサギのシールを張るなど、いつも以上に十分な感染対策に気を配りながら、各行事を開催しました。

公民館で行われたお正月フェスティバルは、笑顔で溢れていました。子どもスタッフの小、中学生は、ウサギの干支の焼き物を手作りしました。焼き物にはその子どもの優しさが溢れ出ていて、地域の方は、「これ素敵ね。家で飾るわ。」と、大盛況でした。子どもの成長に、喜びを今感じています。

人は地域への愛着を持つことで、周囲の人々や自然、地域のことを大切にします。

笠原校区青少年まちづくり市民会議は、笠原の子どもを育てる。子どもたちが楽しく伸び伸び過ごすことができるよう、様々な機会を提供する。頼もしく、たくましい子どもを、前面に出していく。多くの方々につながる町づくりを、今後もしていきたいと思います。



わたしの主張大会2022多治見市大会・第44回少年の主張岐阜県大会

令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響でDVD審査となりましたが、今年度は6月18日（土）とうしん学びの丘エールにて3年ぶりに「対面」で開催することができました。各校区大会で最優秀賞を受賞した小中学生26名が市大会へ出場し、社会や世界に向けての意見、学校や家庭、友達との関わりで感じたことをテーマに個性あふれた主張が繰り広げられました。

8月には26年ぶりに多治見市開催となった「第44回少年の主張岐阜県大会」が笠原中央公民館アザレアホールで行われました。多治見市からは小泉中学校渡邊さん、南ヶ丘中学校坂井さんが出場しました。当日は笠原中学校の生徒が中学生ボランティアとして参加しました。

市大会アトラクションは南ヶ丘中吹奏楽クラブ、県大会では陶都中・笠原中吹奏楽クラブが演奏し、3年ぶりに子どもたちの活動を直接見ることができました。



最優秀賞	氏名	学校名	学年
小学生の部	マエカワヒマリ 前川陽菜里	滝呂小学校	6年
中学生の部	ワタナベヒナカ 渡邊日向圭	小泉中学校	3年

優秀賞	氏名	学校名	学年
小学生の部	ワタナベ シオネ 渡辺 汐音	市之倉小学校	6年
	カマクラ モモハ 釜倉 桃葉	笠原小学校	6年
中学生の部	サカイ ミツキ 坂井 充樹	南ヶ丘中学校	3年
	イケマタ チカ 池俣 知佳	陶都中学校	3年

令和4年度青少年育成功労者表彰

11月19日（土）に青少年育成功労者表彰式を行いました。本表彰は、青少年育成活動及び住みよいまちづくり活動に5年以上携わり顕著な功績のある個人または10年以上携わり顕著な功績のある団体を表彰するものです。今年度は15名と1団体が受賞されました



令和4年度受賞者一覧

- 昭和校区……シャンソンス
- 小泉校区……伊藤 泉、永田 勝則、加藤 美男、武藤 康正、瀬野 徹夫、森 久雄
- 市之倉校区…白石 勝美
- 滝呂校区……松田 久和、堤 達男
- 南姫校区……永井 武、河尻 永氏
- 根本校区……澤近 祥弘、松本 知之、佐々木 直人
- 脇之島校区…宮島 信明

多治見市青少年まちづくり市民大会

2月11日（土）バロー文化ホール小ホールにて3年ぶりに開催できました。当日は、根本校区、南姫校区、脇之島校区の小中学生が今年度のまちづくり市民会議の活動報告を行い、アトラクションとして北陵中学校吹奏楽部が演奏を行いました。



当日は朝から青少年育成推進員を中心に、12名の中学生ボランティアと準備・運営を行いました。今大会を最後に令和4年度の行事は全て終了となりました。まだまだコロナ収束の見通しは立ちませんが、来年度も子どもたちが活躍できる場を提供できるように、尽力してまいります。



多治見市青少年まちづくり市民会議事務局

〒507-8787 多治見市音羽町1丁目233番地
多治見市教育委員会事務局 教育推進課内
TEL: 23-5904 (課直通) FAX: 23-5862
メール: kyoiku@city.tajimi.lg.jp

「青少年育成だより」は12,500部発行し、1部あたり14.5円で印刷しています

VEGETABLE OIL INK 植物油インキを使用しています。
※この印刷物を廃棄する時は、燃やさないで資源回収などに出しましょう。